修学旅行！昔と今

東大津高校では修学旅行のことを研修旅行と言うようになり数十年が経ちました。昔は、必ず「青年の家」などの公共の研修施設で宿泊する修学旅行でした。朝、夕のつどいや2段ベッドで眠ったことなどを思い出します。

（平成2年・北海道）

（昭和62年・会津）

このころから宿泊もホテルへと変化してきました。また、昭和60年ごろから修学旅行を研修旅行と名称を変え、旅行先も東北・北海道など寒冷地がが多かったようです。

初期の修学旅行の風景、青年の家は軍隊よろしく細かい規則で縛られていました。宿泊に関しては楽しい旅行とは程遠かった思い出があります。

現在は飛行機が認められ、総合的な学習の一環として12月上旬に「沖縄」方面の研修旅行となっています。今年の3年生は、那覇で平和学習をした後、宮古島へ行き、真っ青な海での自然体験や「サンシン」や郷土料理の実習など文化体験学習を行い、豪華なリゾートホテルで宿泊しました。夜は、全クラスが一堂に集まり「エイサー」など沖縄文化を堪能し、クラスの出し物などで大いに盛り上がりました。今年も2年生は宮古島へ、来年の1年生は、石垣島への研修旅行が行われます。

平成の子になると表情も服装もかなり替わってきます。第一世代の卒業生から見ると自分の子どもとだぶる所もあります。

2008年春季高校総体成績

陸上

《男子》

400mH	奥田涼介	(3-10)☆	3位
やり投	井上貴文	(3-10)☆	1位
			フィールド総合6位

《女子》

400m	岡田愛理	(3-7)☆	2位
800m	岡田愛理	(3-7)☆	1位
400mH	岡田愛理	(3-7)☆	1位
4×400mR	井上裕見子(3-8) 永野・伊藤・岡田		1位
走高飛	萬　玲奈	(1-9)☆	1位
			フィールド総合8位

☆は近畿大会出場

水泳

《男子》

200m個人メドレー	宮本康弘	(3-10)	2位
400m個人メドレー	宮本康弘	(3-10)	1位

バスケットボール

《男子》

1回戦	東大津	110-38	甲南
2回戦	〃	117-60	日野
3回戦	〃	50-61	瀬田工

《女子》

1回戦	東大津	81-46	八日市
2回戦	〃	38-63	伊吹

サッカー

1回戦	東大津	0-0	甲西(5PK4)
2回戦	〃	0-2	八幡

テニス

《男子》

団体	2回戦	東大津	3-0	水口東
	3回戦	〃	2-0	膳所
	準決勝	〃	2-0	立命館守山
	決勝	〃	0-3	光泉
				団体準優勝

〈個人〉

(シングルス)	東亮太朗	(3-7)	3位
(ダブルス)	東亮太朗・南翔太		準優勝

《女子》

団体	1回戦	東大津	3-0	草津
	2回戦	〃	3-0	大津
	準決勝	〃	0-3	栗東
				3位

〈個人〉

(ダブルス)	池尻姫欧・鄭伽衣	(2-5)	ベスト4

ソフトテニス

《男子》

団体	1回戦	東大津	3-0	立命館守山
	2回戦	〃	2-0	比叡山
	3回戦	〃	0-2	甲西
			ベスト8	近畿大会出場

《女子》

団体	2回戦	東大津	1-2	立命館守山

バレーボール

《男子》

予選	東大津	0-2	北大津
	〃	2-0	彦根総合
決勝T	東大津	0-2	国際情報

《女子》

予選	東大津	0-2	彦根西
敗者復活	〃	2-0	米原
決勝T	東大津	0-2	水口東

剣道

《男子》

団体	1回戦	東大津	1-3 米原

《女子》

団体	2回戦	東大津	3-1 比叡山
	準々決勝	〃	1-3 水口
		ベスト8	近畿大会出場

弓道

《男子》

団体	予選	40射24中	3位通過
	決勝	リーグ戦	3勝2負　3位

個人

下條永展(3-7)	予選通過(8射8中)	
	決勝	12射8中

《女子》　団体　40射20中

バドミントン

《男子》

団体	1回戦	東大津	2-3	瀬田工

《女子》

団体	1回戦	東大津	3-2	米原
	2回戦	東大津	1-3	石山

新体操

個人	総合	河野有紀	(3-5)	6位
	フープ	河野有紀	(3-5)	6位

近畿高校新体操選手権大会出場

卓球

《男子》

団体	2回戦	東大津	2-3	米原

《女子》

団体	1回戦	東大津	1-3	長浜

山岳

健闘したが優秀校に選ばれず

ラグビー

1回戦	東大津	17-5	玉川
準決勝	〃	0-40	八幡工
3位決定戦	〃	34-0	合同

（彦工・瀬田工・石山）　3位

野球

1回戦	東大津	2-9	堅田

あすに向かって

高校総体（インターハイ）近畿地区予選の四百メートルハードル決勝で、県最高記録となる62秒81（全国ランキング4位）を出し、二年連続全国大会出場を決めた。

高一の夏から10秒以上タイムを縮め、着実に力を伸ばしてきた。「この人には負けんとこ」。性格は明るく控えめだが、常にライバルを意識しながら練習に励む強気な一面もある。

東大津からただ一人の出場者だけに周囲の期待も大きい。惜しくも決勝で敗退した昨年の悔しさをばねに、今年は決勝進出を狙う。地区予選で競り合った全国ランキングの上位三人を、直接対決で破るのが目標だ。

顧問の小寺善正教諭は「地区予選のレースを見る限り、そこまでこけると思わない。昨年の教訓を生かしてほしい」とエールを送る。

「小寺先生と陸上部の仲間がいなかったら、今の自分もなかった。みんなの応援でプレッシャーを追い風にしたい」と、顔を紅潮させた。（野条浩）

400mハードルで県最高記録

岡田 愛理選手(17)―東大津高

7月28日 中日新聞に掲載されました。

春季高文祭　全国高総文祭出場（新聞・美術・放送）

吹奏楽

第46回滋賀県吹奏楽祭「ウィキッドメドレー」演奏

科学

春の研究発表会に参加

写真

皇子山公園での新入生歓迎合同撮影会に参加

放送

（アナウンス部門）

寒川まゆ美	(2-6)	4位

（朗読部門）

上田祐誠	(2-4)	1位
墨岡友樹	(3-9)	2位
横山怜美	(2-4)	4位

※以上4名は第55回NHK杯全国大会に出場

※上田(2-4)は第28回近畿高等学校総合文化祭出場

新聞

近江八幡で研究会に参加

美術

京展　洋画の部　入選　田中鵬一(2-5)
海津遼太(3-1)